



旧暦 10月10日の収穫祭を再現！ おふろから文化を発信します。
日本のハロウィン、十日夜（とおかんや）を体験しよう！



【開催店舗】昭和レトロな温泉銭湯 玉川温泉（埼玉県比企郡ときがわ町）

【開催日時】2018年11月17日（日）午後4時より

■十日夜（とおかんや）とは

半世紀前までときがわ町周辺（※1）では、『とおかんや』という子どもたちの遊びがありました。旧暦10月10日の夜、お父さんやおじいちゃんに『わらでっぼう』を作ってもらい、「とーかんや、とーかんや、十日にぼた餅、生でも良い」と大きな声で叫びながら、地面を一生懸命うちならし、ご近所の庭先をまわる季節行事です。このように地面を叩くのは、庭を固めてモグラなどが庭に潜らないようにするためであり、「十日のぼた餅生でも良い」と言うのは、ちょうどこのころ麦まきで大変忙しいので、ぼた餅を生でもいいから食べたい、という意味が込められていたと言われています。

とらんやんは「稲の月見」と言われ、十五夜の月見・十三夜の月見とあわせて三つの月見と言われています。また、わらでっぼうで大地を打つことは大地の魂を蘇らせることでもあり、これが月夜に行われることは、米がたくさん穫れるように願う祭りでもあったのです。株式会社温泉道場が運営する昭和レトロな温泉銭湯 玉川温泉では、今では行われなくなってしまったこの行事を再現します。

※1/埼玉県や群馬県の風習だといわれています。

■本リリースに関するお問い合わせ先■

株式会社温泉道場 玉川温泉 支配人 新井志野

Tel:0493-65-4977 / Fax:0493-65-5121 e-mail : arai@onsendojo.com